

たかの雅生 行動目標

見たくなるまち、来たくなるまち、
住みたくなるまち、「八幡」を目指して。

- 1 歩きます。調べます。
みんなで相談します。
- 2 国、府と連携して
八幡市が輝くように
提案します。
- 3 みなさんに、きちんと
結果をフォローします。

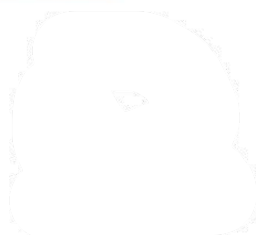
この約3年間、世界も、日本も、八幡市も、新型コロナウイルスに振り回されました。経済活動や社会活動が制限され、市民生活にも大きな影響をもちました。特に「見たくなるまち」「来たくなるまち」の観点では大きな打撃を受けました。そのまなまでも、私にできること、すべしことを考え続け、気づいたことがあります。それは、何よりも住んでくれる市民が誇りを抱き、住み続けたいと願うことです。

活力がふれる、人が集い、交流し、生活する「見たくなるまち」「来たくなるまち」になるように、安心して子育てができ、子ども達の元気な声が広がり、高齢者を支える市民みんなが健康で、幸福を感じられる笑顔の溢れる「住みたくなるまち」となることを、「鷹野雅生」は、願っています。



たかの雅生 プロフィール

1962年11月生まれ/八幡市八幡垣内山在住
【家族】母・妻・長男・長女・次女
【学歴】八幡市立八幡小学校卒業
八幡市立男山中学校卒業、東山高等学校卒業
追手門学院大学卒業
【趣味】ジョギング・硬式テニス・ソフトテニス
【座右の銘】継続は力なり



たかの雅生 後援会事務所

所在地 〒614-8011 八幡市八幡垣内山47

TEL 075-981-2496

FAX 075-981-5896

● たかの雅生 後援会規約 ●

- 【名 称】本会は、たかの雅生後援会と称し、事務所を八幡市内におく。
【目 的】本会は、たかの雅生の政治活動に対し、全面的な支援をすることを目的とする。
- 【事 業】本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 政策の調査 2. 講演会、座談会の開催 3. 各種広報活動
4. 本会の目的達成のため、必要な事業
- 【組 織】本会は、その趣旨に賛同する各種団体、法人並びに個人をもって構成する。
- 【会 計】本会の経費は、寄付及びその他の収入をもってこれにあてる。
【役 員】本会に次の役員を置く。
会 長 若千冬子 会 長 1名 副会長 会 計 事務局長 理事 若千冬子
【その他】その他必要な事項は役員会で決定する。

活力あふれる八幡をつくる

たかの雅生

八幡市議会議員

後援会のご案内

誰にとっても魅力ある八幡市へ

私は八幡市で生まれ育って来ました。大好きなまちです。まずは、多くの人に来てもらうために、観光を大切にしようと言いつけてきました。八幡の魅力発信し続け、好きになり、住んでもらいたいと思います。そのため、視点を広げて、仕事や子育て、趣味など、多様な市民ニーズへ対応していきます。



石清水八幡宮駅前の再整備

八幡市は観光資源に恵まれています。コロナ前は、「国石清水八幡宮」に年間260万人、「背割ひ壇」に桜の時期だけで40万人が訪れています。観光客の皆様も多くは、石清水八幡宮駅を利用されます。駅に降り立った観光客が「八幡市はいいところだ」と気づくポイントを増やしていきたい。「将来はお伊勢さんにも負けぬ門前まちにしたい」と思っています。市民の皆様のご意見を聞き、しっかりと財政プランを立てて、実現に向けて進めていきます。



農業をしっかり支える八幡市へ

京都府の農地の割合は約6%、八幡市の農地の割合は、約20%を占めています。八幡市は農業のまちでもあります。米のほか、野菜やお茶と言った高収益作物の生産が盛んで、若い担い手農家が頑張っています。田んぼは雨水を貯留して洪水を防ぎ、多様な生きものを育み、農地の風景は、私たちの心を和ませてくれます。こうした「めぐみ」は、お金で買うことのできない市民の財産でもあり、都市開発とのバランスを考えながら、八幡市の農業をこれからも支えていきます。



八幡排水機場の改修、未整備農地の解消

八幡市に農地が多い理由に、排水機場が設置され水害から農業と暮らしを守ってきたこと、農地が整備され優良農地が広がったことが上げられます。八幡市の農地とくらしを守るため、60年が経過して老朽化が進んでいる排水機場の改修はもちろん、内水害対策にかかる河川・水路の整備や必要な排水機場の増・新設について総合的に取り組んでいきます。また、八幡市内には、まだまだ多くの未整備農地が残っています。ほ場整備、都市整備を問わず、未整備農地の解消に向けて検討を進めていきます。



住みやすい環境を整え、子育てのしやすい八幡市へ

八幡市は、京都・大阪の大都市の中間地点で交通の便にも不自由はありません。新名神高速道路が全面開通します。新たな都市的な土地利用が進展し、違った光景も増えていきます。

保育園、こども園など就学前の待機児童はありません。ゼロです。義務教育時学校はもちろん、学校外での活動も盛んです。子育て支援施設をはじめ公共施設や組織も充実しています。これからも、若い子育て世代のニーズに的確に応え、実行します。

働ける場があり、子育ても大丈夫、生き生きと活動できる。そして、多くの人が住み、集い、交流し、生産・消費し、活力が生まれていきます。

住んでいる人も、新たに来る人も満足できるように多くの機能を持ったまちづくりを進めること、また、まちの質をより高めていくことを提案していきます。



わかたけ保育園みこひの園庭様子 子ども子育て支援センターすくすく社